

平成 22 年度 天草市立牛深小学校 読書活動報告

本校では、児童の読書活動推進のために、学級における読書活動の推進や魅力ある図書室の図書の充実及び環境設営、また保護者や地域の方による読書活動の推進など多面的に取り組んできています。

[一人ひとりの読書量を増やし、読書の日常化を図る活動]

- 学年や個に応じた本選びができるように、本棚の整理を行い、より多くの児童が活用できる環境を整えるようにしている。
- 各学年の読書目標を設定し、一人ひとりの月ごとの読書量を集計して「読書の木」に貼って読書のあしあとを残しています。



高学年に
おすすめの本

量より質を!!・冊数より学年に応じた読書へと意識を変えよう。～個人でテーマを決めて、「☆☆シリーズにチャレンジ」と進めました。

委員会活動による貸し出しは、がんばっています。5・6年生が毎日交代でお世話をしています。昼休みは、子どもたちでいっぱいです。

委員会による
貸し出し活動



実をいっぱい
読書の木

学級の読書量を示す、読書の木です。100冊で1個の実をつけます。どんどん実をつけられるように、「1日1回、図書室に行くぞう」と、呼びかけています。

読み聞かせに活用する絵本の貸し出しもしています。朝自習の時に、しっかり活用しています。保護者も、この本を借りて、子どもたちに読んで聞かせてくれます。

PTA 読み聞かせ
文庫の貸し出し



今月の読書王

毎月、児童の読書量を掲示し、読書意欲の喚起につなげています。今月の読書王として、紹介し掲示します。

[児童の主体的な読書活動推進を図る活動]

- 図書委員会による活動や学年間による取り組みを行っています。異学年で、おすすめの本の紹介をしたり、音読発表会をします。また、読書のあとの感想を読書郵便として配達したり好きな本のイラストを募集したり読書を楽しみましょうという取り組みを行っています。



児童による読み聞かせ

縦割り班活動による、5年生児童の読み聞かせです。「どの本がいいかな」と、本の選定も学習です。とても楽しみました。



読書郵便ポスト

おすすめの本を異学年のお友だちに紹介し、読んだ感想を返事にしてポストに投入します。返事を待つ時間がとても楽しみでした。



好きな本のイラストを描いてもらい、それを委員会で選び表彰しました。金賞・銀賞・銅賞の作品を掲示しました。

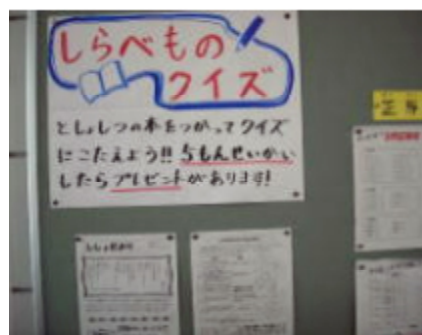
2年生が1年生の教室に音読発表にいきます。ドキドキしながらですが、終わった後は、達成感が・・・喜んでかえってきます。

学年発表・・・
音読発表会

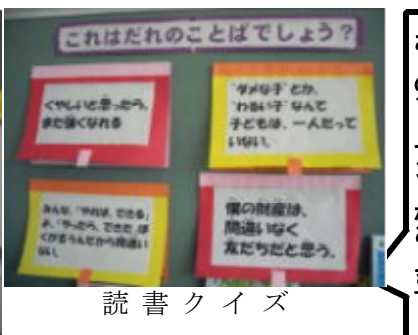


[読書環境を工夫した魅力ある図書室の充実を図る活動]

- 図書室の使い方を見やすくし、誰もが図書室で楽しく借りられるようにしている。
- 新刊図書のコーナーを設置し、新しい本への出会いを魅力あるものとしている。
- 学校司書によるクイズコーナーは、子どもたちが楽しみにしているものです。学習クイズや本の内容のクイズ等、毎月、バラエティに富んでいます。



読書クイズ



新刊書の紹介や読んでほしい本にちなんだ読書クイズを司書の先生から出していたとき、その問題に取り組みます。全問正解者はしおりのプレゼントがあります。



クイズに正解
「やったあ。」

全問正解・・・「やったあ」と大喜び。司書の先生と楽しく、途中までできたプレゼントのしおりを完成させます。これも楽しみの一つです。

[保護者による朝の読み聞かせの活動]



月に1回の朝の読み聞かせ

- 毎月1回、第1水曜日の朝の時間は楽しみです。保護者のボランティアの方々による読み聞かせが行われ、読書への興味を喚起していただくとともに聞き方の場にもなっている。

[その他の活動・・・家族ふれあい読書の日]

- 家族の絆を深める、家族の会話の時間をとることを目的に、月1回の家族ふれあい読書の日を設けている。この読書の時間は、「ノーテレビデー」の協力を呼びかけている。今年度当初は、16%の参加率であったが、今年度最後は、34%の参加率と参加家族が増えている。

[読書活動の成果と課題]

- ・ 平成21年度と22年度読書量を比較したところ、どの学年も本をたくさん読むようになっている。読書環境がよくなったことはもちろん、いろいろな活動で本とふれあう時間が多くなったからだろうと考えられる。引き続き、楽しく読書に親しめる環境作りに努めていきたい。
- ・ 高学年の読書量が少なかった。「量より質を!」と、呼びかけたことも原因であろう。しかし、読む児童と読まない児童の二極化がみえるので、さらに工夫していきたい。